

# 五十嵐博文市長 就任

## 市長就任あいさつ

8月の市長選挙で市民の皆様から負託を受け、幾多の先人が長きに渡り、築き上げてこられた歴史ある郷土を守り、その発展に尽くせるという、この上ない光栄を賜ったと同時に、市民の皆様のご期待の大きさを強く感じ、あらためて、全ての富里市民の生活を守り、力強い富里を次世代につないでいくという、市長の重責に、身の引き締まる思いであります。しかしながら、その重責に屈することなく、全力を傾注し、今後の市政運営に邁進していく覚悟であります。

市では、進展する高齢化社会に対応する社会保障費など、多額の予算の確保が必要となる一方で、財政は、非常に厳しい状況から、今後は、これまで具体性を欠いてきた歳入改革について、議論を深めていくことが非常に重要となります。そこで私は、改革を押し進めるうえでも、財政難をチャンスと捉え、歳入拡大に向けた歳入改革の強化を柱に、各事業の再点検も踏まえた歳出改革の着実な推進を図ることで、持続可能なまちづくりへの転換を行ってまいります。

そして、政策の歯車を回す動力源こそが、行政力であります。職員が挑戦する組織風土を創るうえでも、職員自らが発想と行動を起こせる。そして発信できる能力を備えた人材の育成から、まずは、職員一人一人との対話を重視し、環境づくりの足掛かりとしてまいります。また、新たに市長直属となる、経営戦略室を設置し、各種事業や、公共施設再編プログラムによる、ファミリーマネジメントなどの提言を行うことで、行政のスリム化とともに、行政力の強化を図ってまいります。

政策の歯車の第一に「成田空港とともに発展」を続けなければなりません。そこで、成田国際空港西側から、酒々井インターチェンジまでの間を、産業道路として直結道路化を図ってまいります。また、圏央道の代替道路として、国道409号と主要地方道成田小見川鹿島港線を接続するために、整備の位置づけの確保に向け取り組んでまいります。さらに、都市計画マスタープランの、新たな市街地の形成を実現するうえで、規制緩和が有効であることから、積極的に千葉県に対し働きかけ、新たな企業立地の創出を図ってまいります。

第二に、農業・商業・工業は、まちの基盤となっています。しかし、現状は厳しい状況にあり、農業では、抜本的な部分である収支改善に目を向けることが重要なことから、いかに、比較優位性を発揮するかなど、今後は、高付加価値型・高収益型農業への転換を図ってまいります。また、商工業では、消費の強化への積極的な支援を行うとともに、創業・事業承継への円滑な仕組みづくりなど、更なる支援を行ってまいります。さらに、有害鳥獣による被害が増加していることから、市域全体の体制整備に向け支援の拡充を図ってまいります。

このように、まちの活力を生み出し、歳入の拡大に努める一方で、第三として、福祉が暮らしを守ります。少子高齢化社会が本格化する中で、「富里子ども・子育て支援事業計画」の総合的な検証を実施し、女性が暮らしやすく、働きやすい環境づくりと合わせ、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充



8月26日(月)初登庁(市役所正面玄関)

実と拡充に向け、着実に取り組んでまいります。教育では、子どもたちの可能性を最大限に伸ばす教育にあわせ、特性に配慮した、思いやり教育の充実により、学力向上を図るためにも教員の働き方改革の推進と合わせ、関係者との連携を図り支援を強化してまいります。また、高齢者や障害者の皆様が、誰もが医療・介護・福祉が受けられる環境は、益々重要となることから、関係機関との連携を強化し、支援体制を整えていくとともに、地域公共交通では、あらためて地域に最適且つ効果的な交通ネットワークの再構築に向け、取り組んでまいります。

そして、第四は、次世代に魅力を発信していきます。将来に渡り、富里を愛し続け、住み続けていただくためにも、成田国際空港とともに発展し、福祉の充実を図ることで、暮らす・働くが融合したまちづくりを加速してまいります。また、外国人の市民が益々増加することから、日常的な生活習慣の習得やコミュニケーションの確保など、多文化共生にむけた環境整備に向け取り組んでまいります。消防は、準特定小規模消防本部の要件から、今後は、広域化の枠組みなど、可能性について、具体的な協議に入ってまいります。また、旧岩崎家末廣別邸の保存・活用するためにも、関係機関や企業等との連携も図り、拠点の形成に向け加速してまいります。

これから私は、強い信念のもと、市政の課題の実情を肌で感じるため、積極的に現場を回るとともに、市民の皆様との対話の機会を増やしてまいります。さらに、戦略的パートナーでもある、国・千葉県・近隣自治体をはじめ、成田国際空港や企業等との対話も深め、より一層関係を強めることで、これらを基に、組織や地域の枠にとらわれない横断的な連携を築き、「オール富里」の体制で、新たな時代の市制発展のために進めてまいります。

市民の皆様におかれましては、私の真意をお汲み取りいただき、格段のご支援ご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げ就任のあいさつとさせていただきます。

# 4期16年終え 退任

## 相川堅治市長 お疲れ様でした

平成15年8月から4期16年間、富里市をけん引してきた相川堅治市長が、8月24日で退任しました。23日の退任式では、「皆さんの努力が富里の笑顔になる。真っ直ぐ前を向いて歩んでほしい。ありがとう。」と述べ、多くの市民、職員に見送られ、庁舎を後にされました。



## 市民の皆様へ

平成15年、富里市長に就任して以来、4期16年にわたり、市民の皆様的心温まる御支援、御協力の下、市長として富里市政を担わせていただき、8月24日の任期満了をもちまして、市長の職を退任いたしましたので謹んでご挨拶申し上げます。

私は、みんなで作る「笑顔あふれるまち・富里」の基本理念の基、恵まれた自然環境の中にある優良な農業のまちとして、また、成田空港に近郊する国際性豊かな産業都市として、そして、まちづくりの主体は「人」である協働によるまちづくりを目指し、市政発展に努めてまいりました。

常に市民のことが頭から離れることはなく、市民のための富里市を目指し、築いてまいりましたが、体力の限界を身に感じ、この度の決断にいたしました。これからは一市民として富里市の発展にいささかなりとも尽力してまいりたいと考えております。

結びになりますが、富里には発展していく素晴らしい要素がたくさんございます。いつまでも住んでいたい富里市として、さらに発展して行くことを心からお祈り申し上げます私の退任の挨拶とします。

長年にわたる市民の皆様のご厚情、ご支援、本当にありがとうございました。